

佐久穂の花で假屋崎さん色に

奥村土牛記念美術館で来月作品展

華道家の^{かりやざき}假屋崎省吾さん（東京）の作品を展示する催し「佐久穂恋華めぐり2018」（佐久穂町教育委員会主催）が、佐久穂町の奥村土牛記念美術館で11月3日から同11日まで開かれる。2015年から始まり、昨年は11日間の期間中に県内外から約1300人が訪れた人気イベント。町産の花材を取り入れた假屋崎さんの作品と、常設展示している日本画家奥村土牛（1889～1990年）の絵画が調和した空間が楽し

める。

假屋崎さんは同町八千穂高原のシラカバ林を「恋人の聖地」として認定した静岡市のNPO法人で、選定委員を務めている。「恋華めぐり」は認定地の観光資源のPRなどを目的として始まり、これまで大町市などでも行われた。

今回は美術館にある三つの展示スペースに町や佐久浅間農協（佐久市）が提供した町産のカーネーションやシラカバなどを使った作品十数点を



「佐久穂恋華めぐり」で展示された作品

展示する。展示初日の3日は、假屋崎さんが作品解説を行う30分程度のセミナーも計4回行う予定だ。

須田芳明館長は「假屋崎さんは町の施設や特産を使って多くの人を魅了する空間を演

出してくれる」と話している。

午前9時半～午後5時。期間中無休。入館料は大人500円、小中学生300円。セミナーは参加無料。問い合わせは同美術館（☎0267・88・3881）へ。